



茶子

特別
 入5
 6673
 124
 早稲田大学図書館



守永七戌戌歳



歳旦

室水の一寸一川小動
さよ先んを母を智に
たゆり一葉秋葉を死か
ふとあつねと居の緑は
滯ふもこゝや向くて

まゝみや

まゝみやふ流き

てり

四松庵

宇均

祝晨

拾栗亭

えりやあつねも茶花か有り

免流

新ふち雪の延日とれかよと釣の表

呂乙

春を逢てかこふも似合ふ雪の表

茂泉

物川分りと秋もこれくか天候

柙茂

まの紫れつ雪と一葉秋葉

百林

末そのと一葉秋葉

ゆきの表やうさふ是の秋の霞

藤市

秋霧や雪の余の声に明けつり

玉山亭
如仙

やまゆきと雪も居いより雪の表

自徳

位指してあつねも居一は冬候

和川

福も果やうけを月年れ新

汶丁

東のふもとを定一は

まゆゆを祝ふて又一はくちや

里藤

六十一の年と云へてきり
うらむとほこれしこく

子存ると申すは、ぬれ葉うか 計之

目測さふ山もくけくー神かきみ 女 曾原

大腹や汲あまのこをえつ物 三笑翁 有方

世継の二子どりつけて
そのふと長をむく

破戸もや腹さハ二笑もあつ痛 有若原 若原

それいさまを誘はるふ

ろふりりあふちあハ 神沙山 笑山

酒 果木翁

二子ふと子盛きまては程々
歳末をねくはくけし

推せハゆけく夢又ては少分年の首 百果

いとけり飲もせねむ月あふ 宇均

謙秋のいけき神代のは理ふて 免源

さくは免れふふふふり 柳茂

物くのまに何ふあふねと子にふて 茂泉

白川 鶴とさるは 噴滝 曾原

二〇月まてまら時ふれとふと 有方

いさほく此景にか秋似合 茂市

右八句表

系舟れ志月あつと凡能わ
たししし

こやゆと 四松三人

あふも鬼の 二一の書

京橋治持

